



「共生社会とアクセシビリティを考える」 公開講座

前半の40分は講義形式。幼児期に作業療法を受けた体験や、その後の歩みを通して、共生社会やアクセシビリティについて考えます。後半はワークショップ！「ちがいカード」やフィールドシートを使って、身の回りの“ちょっと困る場面”を見つけ、視点を変えたりアイデアを出し合いながら、思わず笑顔になる工夫を考えます。話すのが苦手でもOK。自由に意見を出しながら、気軽に楽しんでみよう！（過去のワークショップ内容の詳細はこちら）

https://ledesone.com/mag/20250831_morinomiya-u_ws/

〈講師紹介〉



常岡 天祐先生
(合同会社 Ledesone)

合同会社Ledesone（レデソン） 代表・インクルーシブデザインプランナー

1998年1月大阪生まれ。LDとADHDの当事者としての体験を原点に、社会の「ちがい」を活かす仕組みづくりに取り組む。2020年7月に合同会社Ledesoneを設立し、インクルーシブデザインを軸に活動。自治体や企業と連携し、障害や認知特性に配慮した調査・研修・企画を進め、ひとりひとりが暮らしやすい社会の実現を目指し活動中。



日時

2026年 **1月29日**（木）16:50～18:20

場所

共A315教室（全学教育推進機構管理・講義A棟）

申込

大阪大学に所属する学生・教職員（定員20名：先着順）
QRコード・URLよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/nDLhNi4Wnb>

※切 2026年1月22日（木）17時まで

※参加に際し、情報保障などの調整が必要な方は、1月8日（木）までにご連絡ください。

※本講演への参加は、アクセシビリティリーダー1級の受験資格に必要な支援活動に算入できます。



【問い合わせ】キャンパスライフ健康支援・相談センター 相談支援部門（担当：安永・永井）

☎ 06-6850-6107 ✉ info@hacc.osaka-u.ac.jp

『共生社会とアクセシビリティ』について

「共生社会とアクセシビリティを考える」は、障がいの有無に限らず、年齢・性別・文化・言語など多様な背景をもつ人が、どうすれば互いに暮らしやすくなるのかを学ぶ授業です。講義やディスカッション、当事者の話を通して、情報・移動・学び・心の健康など身近な場面の困りごとを知り、具体的な支援や工夫を考えます。

